

# いのちの尊さを通して考える

< 中学校 >

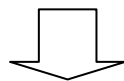
目的 いのちの尊さや、生きることについて考える。  
自分の生き方を振り返ったり、人とのかかわりの中でいのちの大切さについて考える。

## 気づく

### いのちについて考えよう

身近に起こっているいのちに関わる情報を整理し、いのちの大切さに気づく。  
いのちについて考え、生きることについて考える。  
身近な人の生と死について考える。  
自らのいのちについて考える。

身近に起こっている話題やいのちが大切にされていないことから想起する。総合学習の時間に取り組むことも可能である。



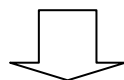
## 広げる深める

### さまざまな人の生き方からいのちについて学ぶ

- ・ 作文を読む
- ・ ビデオをみる
- ・ ゲストティーチャーを招き講演を聞く

懸命に生きた人の文章や話を通して学んだことや感じたことをまとめる。

心のノート  
「生命を考える」P66～69、  
P74～P77  
「自分の番・いのちのバトン」相田みつを  
「輝け！いのちの授業」  
大瀬敏昭（小学館）  
困難を克服された講師を招く



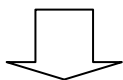
計画し、実践する

## 施設訪問をしよう

- ・ 消防署
- ・ 病院
- ・ 防災センター
- ・ 保健所 等

いのちに関わる仕事をされている方からお話を聞く。  
新たに分かったことや気付いたことをまとめる。

考えられる施設  
消防署  
・ 救急救命士  
・ 消防士  
・ レスキュー隊  
病院  
・ 助産師  
・ 医師  
・ 看護師 等



振り返る

## 自他のいのちの大切さについて考えよう

いのちについて感じたこと、思ったことを発表する。  
他の意見を参考にし、自分にとっていのちとは何なのか考える。

自分のいのちの有限性  
連続性等について考える。  
自分のいのちが家族にとってどう  
いうものか考える。



### 【学習を進めるにあたって】

- ・ さまざまないのちに関わる仕事をされている人々の思いを知り、そうした人々にも支えられていることに気づかせることが大切である。
- ・ いのちは祖先から受け継いだものであり、また、子孫へ受け渡していくものでもある。社会や家族の関係の中でいのちとは何なのか考えることが大切である。